

RID 2780

茅ヶ崎ロータリークラブ週報



第 62 代会長 古知屋光洋

2021-2022 年度

第 62 代幹事 加瀬 義明

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

Painted by Kenzo Tanaka

〔事務局〕 〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町 13-29 茅ヶ崎商工会議所 3 階 TEL : 0467-83-6060 FAX : 0467-83-9915

メール : c3rc@io.ocn.ne.jp 〔例会場〕 〒253-0073 茅ヶ崎市中島 1341 コルティール茅ヶ崎 TEL : 0467-87-0002

2022 年 1 月 27 日(木) 第2958回オンライン例会 天候:晴れ 司会:富田桂司副幹事 No. 25

＝本日の例会行事＝

◇歌唱 「それでこそロータリー」

◇会長挨拶

◇幹事報告

◇卓話 島村盛晶様 (地区職業奉仕委員会 委員) 『職業奉仕月間卓話』

◎ゲスト・ビジター紹介

島村盛晶様 (地区職業奉仕委員会 委員・寒川 RC) 森嶋洋子様 (地区職業奉仕委員会 副委員長・相模原かめりあ RC)

◎幹事報告

◆ガバナー事務所より

◇第2ゾーン RI 理事指名委員会 地区代表委員について
◎2780地区より RI 理事指名委員 1名、補欠委員選出にあたり、RI 細則に従い 候補者推薦の要請

◆ガバナー補佐より

◇第9回会長・幹事会開催通知
◎2/3 (木) 18:00より
◎ZOOMによるリモート開催
◇第8回会長・幹事会 議事録
◆茅ヶ崎青年会議所より ◇新年式典 ご臨席へのお礼状
◆玉蘭荘より ◇玉蘭荘だより 173号



出席報告

日時	回	現会員	計算会員	出席	MU済	欠席	暫定出席率	修正出席率
1/27	2958	40	33	27	0	6	81.82%	
1/13	2956	40	36+1	30	1+3	3	83.78%	91.89%



「ロータリアンの行動原理」

島村盛晶様

茅ヶ崎 RC の皆様、改めましてこんにちは！

今年度地区職業奉仕委員会に出向をさせて頂いております、寒川 RC の島村盛晶でございます。RC 入会 4 年目の私には、「職業奉仕」の卓話は大変荷が重く、お聞き苦しい点多々有るかと思存じます。卓話が終わりましたら是非厳しくご評価をいただき、宿題を持ち帰らせていただければと思存じます。宜しく願い申し上げます。それでは、本日はロータリアンの行動原理と題してお話をさせて頂きたいと思存じます。

さて皆さん、ロータリーの最も核心にあるもの、一番根本のところには何で置かれているのか、何でしょうか？そう、「奉仕」ですね。ロータリーの核心は「奉仕の理念」です。職業奉仕とは、この「奉仕の理念」を実践に移すために、特に「職業」という場面に着目して、私たちが何をどうするかについて述べたものです。もう少し詳しく言うと、「奉仕」という事を行うために「職業人」はどうあるべきか、日々の仕事においてどのような行動をとるべきか（これを今回「行動原理」としたわけですが）、そういうことを理論化した物です。その具体的な内容が、「ロータリーの目的の特に第2項」や、「ロータリアンの行動規範」、「四つのテスト」などに示されていますが、それらを4つのキーワードでまとめてみました。「高度の倫理基準」「高潔性」「職業理解」「職業スキルの提供」です。今日は、それらのうちの「高度の倫理基準」とか「高潔性」といった、とても抽象的というかムズカシイ言葉の意味を、少し深掘りして、皆さんと一緒に考えてみようと思存じます。

まず初めに、「高度の倫理基準」というキーワードがありましたが、改めてこの「倫理」という難しい言葉について考えてみましょう。「倫理」を辞書で調べると、「人として守るべき道。善悪・正邪の判断において普遍的な基準となるものと記されていました。それゆえ「何々すべきだ」「何々してはならない」といった窮屈なイメージを持つ方もいるかもしれませんが、それは言うまでもなく、私たちの誰もが社会の一員で、他者との関係性の中にあり、互いに依存し合って生きています。それゆえ、争いを避け、協力し合わなければうまく生きていけないという前提があるからです。

ただし、「倫理」と呼ばれるものの内容には、実に様々なものがあり、一定不変というわけでもありませんから、私たち

高度の倫理基準 に基づいた職業人の理念とその行動原理

聖職者型	商人(ビジネス)型	職人型
理念 世のため人のため 行動原理 修行、修練に努める 戒律、職業倫理を守る	理念 利潤の最大化 行動原理 合理化、効率化 競争を勝ち抜く	理念 技術の向上、完成 行動原理 鍛錬、向上心

高度の倫理的商人

はそのどれが正しいか見極めて、どれを自分の「倫理」として採用するか、自ら判断する必要があります。それは、結局、「私はどう生きるか」という問題であり、自分が「こうありたい」「こうあるべきだ」と考える世界や自分自身を創り出すためにどうするかという「行動原理」なのであり、自分の世界観や人生観、どういうことに幸福を求めるかという幸福観と直接にかかわる問題なのです。後にも述べますが、それには、今、私たちが大きな意識変革を迫られているという「時代状況」も考えなくてはなりません。

さて、ここまでは「倫理」について振り返らせて頂きましたが、ここからは、最初のキーワードに出てきた、我々ロータリアンに求められる「高度の倫理基準」に基づいた「職業人の理念とその行動原理」について考えていきたいと思います。一口に職業人と言っても、プロフェッションと呼ばれる人々から、芸術家、投資家まで、様々です。そこでいくつかの型を想定します。一つは「聖職者型」、もう一つは「商人型」、また、ひたすら技術の向上・物の完成を目指す「職人型」という型も想定できるかもしれません。これ以外にも様々な型があると思いますが、今回は、この中で商人でありながら世のため人のためという理念をあわせ持つ「高度の倫理的商人」という一つのカテゴリーを想定してみます。

「高度の倫理的商人」といえば有名どころで、近江商人の「三方よし」、渋沢栄一氏の「論語と算盤」（道義・公益の尊重・よい金儲け）、そして松下幸之助氏の「利益は社会に貢献した報酬である」「社会貢献の度合いに応じて利益も大きくなる」といった考えに基づく行動原理です。松下氏は、ご存じの通りロータリアンですが、ロータリーの2大標語の一つ、「最も奉仕する者、最も多く報いられる」を行動原理として確りと取り入れていたんですね。

こうした人たちは、「社会に貢献なくして商売の成功なし」という理念を持っていた。それが商人のあるべき姿だと考えたわけです。まさに高度な倫理基準と理念に基づく職業奉仕を実践していたのです。

もう一つのキーワード高潔性、高潔な人になるとは、どのようなことでしょうか。「人は、堅琴を弾くことによって堅琴弾きとなる」循環論法のような話ですが、私たちは、高潔なふるまいをすることでしか、高潔な人にはなれません。まさしく、それを実践していた模範となる人物が、渋沢栄一氏や松下幸之助氏らだと思いますが、それは決して遠い話ではなく、いつもの例会で、お隣の席に座っていらっしやる、全てのロータリアンでありロータリークラブとは高潔な職業人が集う場なのだと思います。ですので、ベテラン会員の皆さんは、ぜひ、新会員、若い会員に向けて、ご自身の経験談を語って頂きたい。そして、私を含め若い皆さんは、経験談やクラブの奉仕活動から「奉仕の理念」を学び、それをご自身の職場に持ち帰り職業奉仕を実践し、真のロータリアンを目指しましょう。

それでは、少し視野を広げて、世界に目を転じてみましょう。経済に関する考え方に、今、注目すべき変化が見られます。それを表すものとして、ここに三つあげてみました。1つ目は、「株主資本主義」から「ステークホルダー資本主義」へ、です。株主だけでなく、顧客、従業員、地域社会、更には環境など、企業をめぐるステークホルダー（利害関係者）全てに貢献できるような企業経営を目指す、という考え方は、ダボス会議という、世界的な企業家、政治家、学者らが参加する会議体が打ち出したことで、注目されています。

2つ目は、ESG 投資です。短期的な値上がりで儲けるような投資ではなく、環境（E）、社会（S）、ガバナンス（G）にきちんと取り組んでいる企業にこそ投資しようという考え方は、金融資本主義に対する反省です。

そして3つ目は、いわずと知れた、SDGs です。世界の「共通課題17項目を、持続可能な形で改善することへの取り組み。こういったことの背景は、短期的な利益追求による格差の拡大、環境破壊などなど、このままでは世の中が持続しないという危機感、そしてグローバル化したこの世界においては、誰一人として、「私には関係ない」ということができないという事実です。私たちは今、大きな意識変革を迫られています。

ロータリーは、既に100年も前から、これらが必要だと判断して、自分たちの行動原理として「職業奉仕」を掲げてきました。時代の激しい流れの中で、今こそ、私たちはこれを堅持し、その判断の正しさを、自信をもって語るべきです。時代の激しい流れの中で、今こそ、私たちはこれを堅持し、その判断の正しさを、自信をもって語るべきです。

このような世界の変化を踏まえ、ロータリーが職業奉仕という行動原理によって目指す「よりよい世界」とは、どんな世界なのでしょう。これを端的に表すものが、二つあります。一つ目は、2017年にRI理事会で採択されたビジョン声明です。「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する社会を目指しています」このビジョン声明は、現時点のロータリーの到達点とも言うべきものです。ロータリアンとは、こういうことを目指している人々だ、ということです。もう一つが、7つの重点分野です。7つの重点分野

は、そのために私たちはこういうことに重点的に取り組んでいるということ。ロータリーが考える、この世界の「喫緊の課題」とでもいうべきものです。昨年から、7つ目に環境保護が加えられたことに、注目しておきましょう。さて、それでは職業奉仕の実践について、お話をします。高い倫理基準をもって行動するとは、どういうことをすることか。例として企業コンプライアンスや従業員に対する配慮、人権の尊重、ギブアンドテイク。こういうことは、残念ながら当たり前前の倫理基準であり、職業人、企業家として当然に守るべき責務です。

高い倫理基準による行動とは、これらに加えて、「職業のスキル等を用い、責務を超えて貢献する」という事ですが、これには時に自己犠牲を伴う事もあるでしょう。しかし、それこそがロータリアンに求められる高い倫理基準による行動であり、職業奉仕そのものです。そして今、このコロナ禍においても、混乱に乗じて金もうけを企む、詐欺をするというような人々から、政策的援助を待つ、努力する、創意工夫する、仲間内で助け合うという人々まで、人々の対応は様々です。そんな中で、私たちは、ロータリークラブとして、あるいは一企業として、次のような行動をしました。

- ・医療従事者の応援、援助をした。
- ・諸団体にマスクや防護服の寄付をした。
- ・身を削って従業員を守った。

などなど、世界中のロータリークラブ、ロータリアンが、数えきれないほどの行動（アクション）を起こしたはずですが。私たちは、地域社会で、自分の会社で、自分は何をすべきか、何が求められ、どんな援助が有効なのか、必死に考え、これらを実践しました。

これこそが、「職業奉仕」の名のもとにロータリアンが培ってきた行動原理の体現であり、倫理の本質です。ここで、ロータリークラブ定款第6条2に記されている「職業奉仕とは何か」について、確認していきたいと思えます。

職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念にしたがって自分自身を律し事業を行うことが含まれる。まさに、自分の職場で、職業を遂行する上で、「奉仕の理念」を道しるべとしましょう、それこそが「職業奉仕」ですと明記されています。倫理とは、自分が「良い（善い）」と考え、こうありたい、こうあるべきだと思いつく自分や社会のありように向けた行動原理です。そして、私たちの職業奉仕という行動原理は、あるべき世界、あるべき自分を誠実に希求する私たちの「覚悟」であり、ロータリアンが、「奉仕の理念」を胸に抱えて、絶やさず灯し続けてきた「心の炎」なのです。

最後に、私の父が創業当時から大切にし、現在は弊社の企業理念となった言葉があります。「自利利他」です。今回の卓話に向けた、地区職業奉仕委員会での経験を通し、私自身改めてこの言葉の奥深さと重さを感じる事が出来ました。ロータリーを通して学んでいる「奉仕の理念」を職場に持ち帰り、職業で世の中に貢献し、奉仕する。

職業奉仕を実践しましょう！

平和と
紛争予防/
紛争解決

疫病予防
と
治療

水と衛生

母子の健康

基本的教育
と
識字率向上

経済と
地域社会
の
発展

環境の保護